

---

平成30年度  
「我が国の文化芸術フェスティバルの  
海外発信に係るシンポジウム運営」  
委託業務

---

実施報告書

平成31年3月29日（金）

## 本事業の目的

我が国の現代美術の海外発信を強化するためには、文化芸術フェスティバルの海外発信力強化が必要不可欠である。そのため、関係者同士の連携や情報の共有、対外的なネットワーク作りを行うため、シンポジウムを開催し、関係団体の連携を深め実情に即した課題や対応事例等の抽出や議論を行うとともに、有識者を招へいし今後の効果的な事業遂行に向けた検討を行う。

## 事業名称

我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信に係るシンポジウム運営委託業務

## 主催

文化庁

## 実施内容

「国際文化芸術発信拠点形成事業」において採択をされている団体同士の連携や情報の共有、対外的なネットワーク作りを行うため、シンポジウムを開催し、その成果をまとめ、今後の効果的な事業執行に役立てる。

### (1) シンポジウムの運営準備に係る業務

本事業における会場の選定、事業執行に係る経費管理（旅費支払や謝金支払に関する業務を含む）及び事業実施記録作成、広報等を行うための業務体制を整える。なお、広報等を行う際には文化庁と協議を行う。

### (2) シンポジウムの開催に係る業務

#### ア シンポジウムの企画

- ・シンポジウムは3月初旬に開催予定とし、会場は文化庁と協議の上決定する。
- ・有識者については、提案をもとに文化庁と協議をして決定する。
- ・シンポジウムの構成について、次の点を盛り込むこと。
  - (ア) 文化芸術フェスティバルの海外発信力強化に関する講演、討議の場を設けること。
  - (イ) 参加団体の本年度の事業についての成果共有を行うこと。
  - (ウ) 参加団体同士のネットワーク作りの場を設けること。

#### イ 有識者との交渉

ウ シンポジウム実施に関する周知に係ること（参加団体との連絡調整、参加者の取りまとめ等）

#### エ シンポジウムの運営

オ その他必要な課題についての検討

### (3) シンポジウムの成果報告書の作成

- ア 実施記録（記録写真・記録映像等）の作成
- イ 本事業の実施成果をまとめた報告書の作成
- ウ 作成した報告書の頒布等

### (4) その他

上記に付随する必要な業務

## シンポジウム「我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信」全体概要

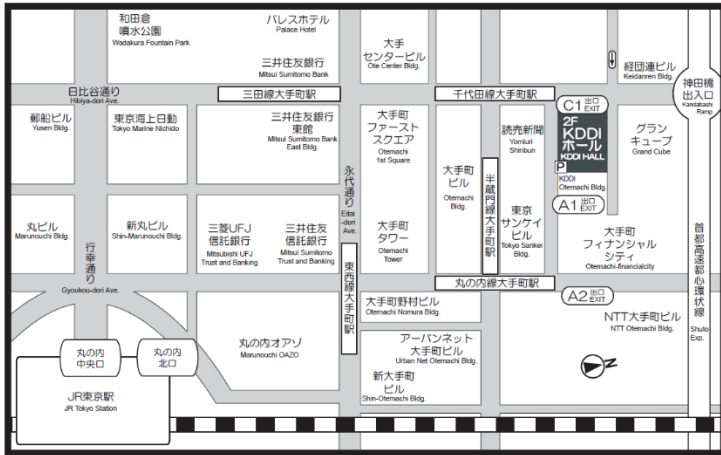
- 事業名称  
「平成30年度我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信に係るシンポジウム」
- 事業の目的  
我が国の現代美術の海外発信を強化するためには、文化芸術フェスティバルの海外発信力強化が必要不可欠である。そのため、関係者同士の連携や情報の共有、対外的なネットワーク作りを行うため、シンポジウムを開催し、関係団体の連携を深め実情に即した課題や対応事例等の抽出や議論を行うとともに、有識者を招へいし今後の効果的な事業遂行に向けた検討を行う。
- 日時  
2019年3月6日（水）13:30～17:00
- 場所  
KDDIホール（JR線「東京駅」丸ノ内中央口より徒歩10分）  
住所：東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI 大手町ビル2階  
アクセス：東京メトロ千代田線・半蔵門線・東西線「大手町駅」C1出口より直結。  
都営地下鉄 三田線「大手町駅」C1出口より直結。  
東京メトロ 丸ノ内線「大手町駅」A1出口より徒歩2分。
- 主催  
文化庁
- プログラム案
- 13:30 シンポジウム開始  
第1部 開会挨拶【5～10分】 文化庁参事官 坪田 知広様
- 13:40 基調講演【30分】  
「日本の文化芸術を活用したインバウンド誘致～海外での日本文化発信から学ぶ～」  
・CROSSMEDIA 代表取締役社長 丸茂 和博様
- 14:10 各団体からの活動報告（動画発表）【15～20分】
- 14:30 パネルディスカッション【60分】  
「外国人に向けた効果的な情報発信」  
・CROSSMEDIA 代表取締役社長 丸茂 和博様  
・公益社団法人鼓童文化財団 専務理事 菅野 敦司様  
・All About Japan 編集長 キアラ テルスオロ様  
・株式会社じゃぱんじゃぱん 取締役 鈴木 雅人様
- 15:30 終了
- < 休憩・配置転換【30分】 >
- 16:00 第2部 意見交換会（登壇者、メディア関係者とのネットワーキングスペースの提供）
- 17:00 終了

## 会場案内 (アクセス)

会場：KDDIホール

住所：東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI 大手町ビル2階

アクセス：東京メトロ千代田線・半蔵門線・東西線「大手町駅」C1出口より直結。  
都営地下鉄 三田線「大手町駅」C1出口より直結。  
東京メトロ 丸ノ内線「大手町駅」A1出口より徒歩2分。



※地下鉄 大手町駅より徒歩1～5分 (C1またはA1出口が便利です。)

※JR線 東京駅丸の内中央口または北口より徒歩約10分

※駐車場 平日8:00～20:00 土日祝休業 30分毎300円

実際に配布したチラシ

以下の通り、シンポジウム「我が国の文化芸術フェスティバルにおける海外発信」を行った。

文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業  
**シンポジウム**  
**「我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信」**

入場無料  
 2019年  
**3月6日(水)**  
 13:30~17:00  
 会場：KDDIホール

**基調講演** CROSS MEDIA LTD. 代表取締役社長 **丸茂 和博**

1949年東京都生まれ。ミニコミ紙、ガイドブックなどの出版を経て、1987年、英国で出版社CROSS MEDIA LTD.を設立。ロンドン、パリを中心とする情報ガイド「RED DIRECTORY」シリーズ、日本文化を紹介する英文情報誌「EAT-JAPAN」の発行人。  
 現在、日本食と日本ポップカルチャーを融合したイベント「HYPER JAPAN」を年2回イギリスで実施。



◆会場案内

**開催会場：KDDIホール**

(地下鉄「大手町駅」C1出口より直結)

住所／東京都千代田区大手町1-8-1

KDDI大手町ビル2階

アクセス／【地下鉄】

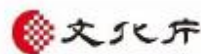
- ・東京メトロ千代田線・半蔵門線・東西線「大手町駅」C1出口より直結。
- ・都営地下鉄三田線「大手町駅」C1出口より直結。
- ・東京メトロ丸ノ内線「大手町駅」A1出口より徒歩2分。
- 【 JR 】「東京駅」丸ノ内中央口より徒歩10分



◆参加申し込み

別添の申込書に必要な事項を記入の上、メールまたはFAXにて事務局までお送りください。

【シンポジウム申込先】 FAX：03-6891-9405  
 MAIL：[ecc5-06@or.knt.co.jp](mailto:ecc5-06@or.knt.co.jp)



お問い合わせ先  
事務局

株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス 第5営業支店 担当：善如寺、村越  
 住所：東京都千代田区神田和泉町1-13 住友商事 神田和泉町ビル12階  
 電話：03-6891-9305 FAX：03-6891-9405

文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業

シンポジウム「我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信」

◆開催概要

我が国の文化芸術フェスティバルの諸外国での認知度はまだまだ低いのが実情であり、文化芸術フェスティバルの海外発信力強化が必要不可欠です。

そこで、我が国の文化芸術を世界に向けて発信していくにあたり、海外において日本文化の発信を実践されている方や、日本から海外に向けて情報発信している方々をお招きし、我が国の実情に即した効果的な情報発信について議論を行うとともに、関係者同士のネットワーク作りや情報の共有に役立てます。

開催日時：2019年3月6日（水）13:30～17:00

会場：KDDホール

主催：文化庁

◆プログラム

敬称略

13:30 シンポジウム開始 (13:00～ 受付開始)

13:35 開会挨拶  
◆文化庁

13:40 第1部 基調講演：「日本の文化芸術を活用したインバウンド誘致  
～海外での日本文化発信から学ぶ～」  
◆丸茂 和博 CROSS MEDIA LTD. 代表取締役社長

14:10 各団体からの活動報告（動画発表）

14:30 パネルディスカッション：「インバウンド獲得に向けた効果的な情報発信」  
◆丸茂 和博 CROSS MEDIA LTD. 代表取締役社長  
◆菅野 敦司 公益社団法人鼓童文化財団 専務理事  
◆キアラ テルスオ All About Japan 編集長  
◆鈴木 雅人 株式会社じゃぱんじゃぱん 取締役（ファシリテーター）



丸茂 和博



菅野 敦司



キアラ テルスオ



鈴木 雅人

15:30 終了

< 休憩・配置転換 >

第2部 意見交換会  
（登壇者、メディア関係者とのネットワーキングスペースの提供）

17:00 終了

お問い合わせ先  
事務局

株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス 第5営業支店 担当：善如寺、村越  
住所：東京都千代田区神田和泉町1-13 住友商事神田和泉町ビル12階  
電話：03-6891-9305 FAX：03-6891-9405

## 参加者数等

シンポジウム「我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信」における参加者等は以下の通りであった。

### 参加者数

参加者総数：79名（実数）

### アンケート回収

アンケート回収総計：15件

## シンポジウム開催における考え方

本事業は、「国際文化芸術発信拠点形成事業」において採択をされている団体同士の連携や情報の共有、対外的なネットワーク作りを行うためにシンポジウムを行うものであり、今後の効果的な事業遂行に向けた検討を行う機会を提供するものである。

国際文化芸術発信拠点形成事業は、本年度よりスタートした事業であり今後の事業展開においては様々な議論が必要であるが、下記案のように戦略的な観光客誘致が必要であると考えます。

シンポジウムの企画にあたっては、“訪日外国人目線を常に意識し、お客様目線でフェスティバルの情報発信・運営が行えるような、参加した団体にとって有益な情報を提供し、今後の「国際文化芸術発信拠点形成事業」の発展に寄与するものとした。

## 参加者について

シンポジウムの実施にあたっては、以下の方々を参加対象者に設定し、集客を行った。参加者数については前述の通りである。

- 平成30年度国際文化芸術発信拠点形成事業における補助事業者
- 自治体関係者
- 芸術文化団体
- 文化庁事業における関連民間企業
- 一般参加者（学生含む）

## 登壇者について

シンポジウムにおける各プログラムの登壇者は以下の通りであった。登壇者の選定においては、事業受託者からの推薦を行い、文化庁と協議の上、決定した。

プログラム	所属	氏名
挨拶	文化庁参事官	坪田 知広
基調講演	CROSS MEDIA LTD. 代表取締役社長	丸茂 和博氏
パネルディスカッション	CROSS MEDIA LTD. 代表取締役社長	丸茂 和博氏
	公益財団法人鼓童文化財団 専務理事	菅野 敦司氏
	All About Japan 編集長	キアラ・テルスオロ氏
	株式会社じゃぱんじゃぱん 取締役 ファシリテーター	鈴木 雅人氏



## パネルディスカッション

テーマ：「インバウンド獲得に向けた効果的な情報発信」

### 丸茂 和博 氏

#### CROSS MEDIA 社 代表取締役社長



1949年東京都生まれ。立教大学仏文科中退。

ミニコミ紙、ガイドブックなどの出版を経て、1987年、英国で出版社 CROSS MEDIA LTD. を設立。ロンドン、パリを中心とする情報ガイド「RED DIRECTORY」シリーズ、日本文化を紹介する英文情報誌「EAT JAPAN」の発行人。

現在、イギリスで年2回行われている『HYPER JAPAN』は丸茂社長の発案により、当時イギリスでトレンドになりつつあった日本食と、ヨーロッパ大陸で既にブームを巻き起こしていた日本ポップカルチャーを融合したイベントとして誕生した。

### 菅野 敦司 氏

#### 公益財団法人 鼓童文化財団 専務理事



鼓童では佐渡を基軸にした活動をこれまで以上に行っていくため、大勢の方々のご支援のもと、社会教育や地域還元重点を置いた公益活動を行う「財団法人 鼓童文化財団」を1997年に設立しました。鼓童の舞台を花にたとえれば、それを支える根にあたります。各種ワークショップの開催、アース・セレブレーションの企画、図書館や研修所の運営、芸能に関する調査研究などを実施しています。

2011年11月1日より「公益財団法人 鼓童文化財団」として、新たなスタートをきりました。(HP転載)

### Chiara Terzuolo (キアラテルスオロ) 氏

#### All About Japan 編集長

米国出身。アメリカとイタリアのハーフ。日本在住歴は8年以上。アメリカの大学卒業後、フルブライト奨学金にて来日し琴・三味線の技術を学び、ロンドン大学SOAS音楽学部にて修士号を取得。

私立国際教育機関IE Business Schoolにて日本オフィスを担当。2014年より現地オプショナルツアー予約サイト大手のベルトラ株式会社にて、コンテンツライターとして長年従事したのち、日本インバウンドマーケティングマネージャー、アジアとオセアニアマーケティング部長を歴任。

その傍ら、2011年よりライター・エディターとして、日本の魅力を発信するノウハウと実績を身に付ける。レポーターとしてNHKに出演するなど、テレビメディアへの出演実績も多数。2018年5月にAll About Japan編集長に就任。



### 鈴木 雅人 氏

#### 株式会社じゃぱんじゃぱん 取締役 【ファシリテーター】

映画、MV、VPをはじめとする映像業界で、ディレクター・プロデューサー業務に従事したのち、外国人向けプロモーション動画制作に携わる。以降、インバウンド需要の拡大にあわせ、蓄積した経験と知見を活かし、じゃぱんじゃぱん取締役に就任。

現在、外国人YouTuberと共同したプロモーション動画制作実績は2,000本以上にのぼる。



告知業務

本事業においては、国際文化芸術発信拠点形成事業の補助事業者が有益な海外発信の方法を入手することを目的にしていることから、参加者募集用にプログラム内容を記載したチラシを作成し、補助事業者への配布を行った。

告知方法は、文化庁のFacebookページ、文化庁及び弊社の関連する企業や団体へのダイレクトメールによる広報を行った。

当日配布したチラシ

文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業  
シンポジウム  
「我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信」  
2019年  
3月6日(水)  
13:30~17:00  
会場：KDDIホール

**基調講演**  
CROSS MEDIA LTD. 代表取締役社長 丸茂 和博  
1949年東京都生まれ。ニコニコ、ガイドブックなどの出版を経て、1987年、英国で出版社CROSS MEDIA LTD.を設立。ロンドン、円外中による情報ガイドRED DIRECTORYシリーズ、日本文化を紹介する英文情報誌「JAPAN」の発行人。現在、日本と日本のブルジョアを融合したイベントHYPER JAPAN18年2回(1年1回)で実現。

◆会場案内  
開催会場：KDDIホール  
住所：東京都千代田区大手町1-9-1  
アクセス：地下鉄  
丸茂 和博 代表取締役 丸茂 和博  
「大手町駅」C1出口より徒歩  
都営地下鉄三田線「大手町駅」  
C1出口より徒歩  
東京メトロ丸の内線「大手町駅」  
A出口より徒歩2分。  
1)東京メトロ丸の内線中央口徒歩10分

◆参加申し込み  
別添の申込書に必要事項を記入の上、メールまたはFAXにて事務局までお送りください。  
【シンポジウム申込先】 FAX：03-6891-9405  
MAIL：ecc5-06@orknt.co.jp

文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業  
シンポジウム「我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信」

◆開催概要  
我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信の認知度はまだ低いのが実情であり、文化芸術フェスティバルの海外発信力強化が必要不可欠です。  
そこで、我が国の文化芸術を世界に向けて発信していくにあたり、海外において日本文化の発信を果たしている方や、日本から海外に向けて情報発信している方々を招き、我が国の芸術に果たした効果的な情報発信方法について議論を行うと共に、関係者同士のネットワーク作りや情報共有の共有に役立ちます。

開催日時：2019年3月6日(水) 13:30~17:00  
会場：KDDIホール  
主催：文化庁

◆プログラム  
13:30 シンポジウム開始 (13:00~ 受付開始)  
13:35 開会挨拶  
◆文化庁  
13:40 第1部 基調講演：「日本の文化芸術を活用したインバウンド誘致  
～海外での日本文化発信から学ぶ～」  
◆丸茂 和博 CROSS MEDIA LTD. 代表取締役社長  
14:10 各団体からの活動報告 (動画発表)  
14:30 パネルディスカッション：「インバウンド獲得に向けた効果的な情報発信」  
◆丸茂 和博 CROSS MEDIA LTD. 代表取締役社長  
◆菅野 敦司 公益社団法人読書文化財団 専務理事  
◆マツリススオ AIH About Japan 編集長  
◆鈴木 雅人 株式会社しんぶん 取締役 (フリースターター)

15:30 終了  
◆丸茂 和博 菅野 敦司 松本 雅人 鈴木 雅人  
< 休憩・配膳転換 >  
第2部 意見交換会  
(登壇者、メディア関係者とのネットワーキングスペースの提供)  
17:00 終了

申込書  
シンポジウム運営事務局 宛  
FAX番号：03-6891-9405  
MAIL：ecc5-06@orknt.co.jp

※集積期：2019年3月4日(月)

氏名 会社名	
所属	
役職	
担当	
お申込者氏名	
連絡先	電話番号： E-mail：
その他 特記事項	

◆お申し込み先  
株式会社読書文化財団〒123-0292 東京都文京区 田舎 5-5-11  
住所：東京都千代田区千代田1-3-1 在立事務所に届く場合は  
電話：03-6891-9405 FAX：03-6891-9405

参加者募集告知の様子 (文化庁Facebookページより)

文化庁 @bunkacho  
2月25日 13:30  
【聴講者募集】3/6(水)13:30~ KDDIホールにて、シンポジウム「我が国の文化芸術フェスティバルの海外発信」を開催します！文化芸術フェスティバルの海外での認知度向上に向け、効果的な発信方法等についてお話を伺います。詳細・参加申込みはチラシを御覧ください。  
#文化庁  
#インバウンド  
#芸術祭

◆会場案内  
開催会場：KDDIホール  
住所：東京都千代田区大手町1-9-1  
アクセス：地下鉄  
丸茂 和博 代表取締役 丸茂 和博  
「大手町駅」C1出口より徒歩  
都営地下鉄三田線「大手町駅」  
C1出口より徒歩  
東京メトロ丸の内線「大手町駅」  
A出口より徒歩2分。  
1)東京メトロ丸の内線中央口徒歩10分

◆参加申し込み  
別添の申込書に必要事項を記入の上、メールまたはFAXにて事務局までお送りください。  
【シンポジウム申込先】 FAX：03-6891-9405  
MAIL：ecc5-06@orknt.co.jp



広報業務

All About Japan [7 Unmissable Art Festivals in Japan]

掲載日：2019年3月28日

URL：https://allabout-japan.com/en/article/7990/



7 Unmissable Art Festivals in Japan



From modern galleries to installations ranging across the scenic Japanese countryside, Japan's art scene is capturing the imagination of visitors and locals alike.

Reborn Art Festival (Miyagi Prefecture)



Seeking to bring positivity and joy to an area that was devastated during the 2011 Tohoku earthquake and tsunami, this inspiring festival is centered on the concept of 'reborn-art' as a means of promoting life skills.

The 2019 edition will explore the theme of 'Texture of Life,' using artwork, performances and community to lead participants back to the true essence and joys of life.



This year's Reborn Art Festival will take place from Saturday, August 3 to Sunday, September 29, 2019.

Venues will be spread out over a few areas in Miyagi Prefecture, centering around the Oshika Peninsula, Ajishima, Central Ishinomaki and Matsushima Bay.

www.reborn-art-fes.jp



Related Articles

- Enjoy Flower Fun at the Tanto Tulip Festival
The Akiyoshida Fire Festival
Tokyo Festival to Celebrate Japanese Manholes



Trending

- No.1 10 Beautiful Onsen in Kyoto
No.2 Japan's Top Cold & Flu Medicine
No.3 11 Things to Know When Traveling to Japan
No.4 4 Highly Popular Dating Apps in Japan
No.5 Japan's 12 Most Famous Samurai
No.6 The Top 6 Beers in Japan
No.7 Tokyo Dirt-Cheap Clothes Shopping Tour
No.8 Don't Bring These Restricted Items to Japan
No.9 10 Japanese Business Etiquette Rules
No.10 Japanese Foods to Know Before You Go

Explore



- Sapporo, Sendai, Tokyo, Yokohama, Hakone, Kanazawa, Nagoya, Kyoto, Osaka, Hiroshima, Fukuoka, Nagasaki, Okinawa



Roppongi Art Night (Tokyo)



A beloved yearly event, Roppongi Art Night is a celebration of art held in Tokyo's Roppongi district. For one night this party-loving neighbourhood gets taken over by artwork and performances.

Wander around Roppongi Hills, Mori Art Museum, Tokyo Midtown, Suntory Museum of Art, 21\_21 DESIGN SIGHT, The National Art Center, Tokyo and other public spaces to take in all the works.



The 2019 edition of Roppongi Art Night will take place on Saturday, May 25 and Sunday, May 26, with most of the major events planned for Saturday evening.

www.roppongiartnight.com

UENOYES (Tokyo)



The area around Ueno Park is full of museums of all sizes, dotted with charming residential areas that still have a touch of old Tokyo charm.

While this festival is still a bit of a hidden gem, some of the large scale installations have captured the imagination of art-lovers worldwide.



The events are often both family-friendly and barrier-free, to ensure that anyone can join in the joys of art, creativity and discovery.

uenoyes.ueno-bunka.jp



広報業務

All About Japan

[4 Inspiring Performing Arts Festivals in Japan]

掲載日：2019年3月29日

URL：<https://allabout-japan.com/en/article/8038/>



Travel Food Fun Innovations Shopping Features!

Weird Japan Pop Culture Otaku Style

Home > Fun > Pop Culture

4 Inspiring Performing Arts Festivals in Japan

Updated March 29, 2019 | Art, PR



4 Inspiring Performing Arts Festivals in Japan

As home to some of the world's oldest theatrical traditions, it is no surprise that Japan has a thriving performing arts scene. From huge taiko drums to theater performances in Tokyo's artsy neighborhoods and beyond, theater, music and dance lovers alike flock to experience Japan's performance festivals.



International City of Arts and Culture Toshima (Tokyo)



Photo: Takashi Fujikura (2018/06/02)

Started in Tokyo's Toshima Ward, this ambitious project is helping build a culturally creative community by taking advantage of all of Toshima's many cultural resources. By making the area a stage for free expression, they also hope to make what can often be somewhat anonymous urban spaces safer and more people-friendly.

Once known as the "ikebukuro Montparnasse", Toshima has been a haven for artists and writers for decades, home to "atelier villages" where creatives of all stripes collaborated to create new visions and forms of creative expression. It is also an enormously important place in the history of manga, as many of the greats of the genre such as Osamu Tezuka, Fujiko Fujio and Hideko Mizuno started their careers here.



Photo: Mariko Kato

From performing arts to dance workshops and galleries overflowing with the imaginative creations of artists both past and present, the neighbourhood is becoming a hub of creativity. There are shows, exhibitions and other events throughout the year, so no matter when you visit Toshima there is sure to be something fun to experience.

- www.city.toshima.lg.jp



Related Articles

- 5 Fun Festivals in Japan's National Parks Great Outdoors, Festivals
- 10 Reasons to Visit Yamaguchi Deeper Japan, Yamaguchi
- 7 Unmissable Art Festivals in Japan Art, PR



- No.1 10 Beautiful Onsen in Kyoto
- No.2 Japan's Top Cold & Flu Medicine
- No.3 11 Things to Know When Traveling to Japan
- No.4 4 Highly Popular Dating Apps in Japan
- No.5 Japan's 12 Most Famous Samurai
- No.6 The Top 6 Beers in Japan
- No.7 Tokyo Dirt-Cheap Clothes Shopping Tour
- No.8 Don't Brine These Restricted Items to Japan
- No.9 10 Japanese Business Etiquette Rules
- No.10 Japanese Foods to Know Before You Go

Explore



Yokohama Arts Action Project (Kanagawa Prefecture)



Also known as the Yokohama Sound Festival, this celebration of music takes over the port city of Yokohama once every three years. It is run by the Yokohama Arts Festival, who also recently produced an associated event dedicated to dance, Dance Dance Dance @ Yokohama, which took place in 2018. From the photos you can see that it was a full-scale celebration of dance in all its many forms, from professional ballet to workshops for children.

In the same way, Yokohama Otomazuri transcends barriers and connects audiences and performers, with styles ranging from classical to jazz, rock, electronic music and more.



As the largest music festival in Japan, the 2019 edition is sure to make the whole city reverberate with the joyous sounds of music and applause. Keep an eye on their website (below) for updates about the festival dates and performances.

- yokoito.jp (English)

Earth Celebration (Niigata Prefecture)



Three days of concerts, workshops and outdoor activities take over the remote island of Sado for three days each August. Hosted by the world-famous Kodo taiko group, artists from around Japan and the world come to play with these drum masters.

Besides nightly concerts, there are also fringe events and plenty of interesting stalls at the Harbour Market. If you are into traditional Japanese music and dance, you can book a spot at one of the workshops. Earth Celebration is also a kid-friendly event, with interactive performances and classes aimed at young music enthusiasts. Preschoolers can attend the Main Harbour Market concerts with their families.

Hakone Kanazawa Fukuoka Nagasaki Okinawa



広報業務

Japan Objects

[11 Best Art Festivals in Japan You Should Visit in 2019]

掲載日：2019年3月29日

URL：<https://japanobjects.com/features/japan-festivals>



LATEST ART CRAFT LIFESTYLE TRAVEL SUBSCRIBE Q

Hotel Villa Fontaine 詳しく見る ▶

最低価格保証でお得に宿泊 予約は公式サイトで 自室下駄箱・ライオンアメニティ

11 Best Art Festivals in Japan You Should Visit in 2019

by Lucy Dayman | TRAVEL



© Reborn-Art Festival

Japan is a nation that takes its art admiration very seriously. Although Tokyo, Kyoto, and Osaka are home to some incredible galleries and museums, to really appreciate the broad scope of the art scene across the islands of Japan, go beyond the major cities and explore the many Japanese art festivals that are held throughout the year. From music festivals to art triennales and from permanent installations to seasonal events, here are some of the **best arts festivals in Japan in 2019**.

Hotel Villa Fontaine 詳しく見る ▶

最低価格保証でお得に宿泊

ビジネスユースもプライベートも、体たね不動産のワイラフォンテーヌ

【安心】 都内13店舗、大塚、神戸にも展開中！宿泊予約は公式サイトで 自室下駄箱・ライオンアメニティ

もっと見る

1. Echigo-Tsumari Art Field | Niigata



Jimmy Liao, Kiss and Goodbye

There's conceptual art, immersive art, progressive art, and then there's the Echigo-Tsumari Art Field, which is somehow all of that and something completely new. Located in Niigata Prefecture, this project is essentially an **open-air, region-wide public art gallery**, and is home to around 200 art installations crafted by both local and international artists. Scattered around the area, you can find these art pieces in the famous Niigata rice fields, in schools, in abandoned buildings, and hidden where you'll least expect them. The naturally and artistically stunning site is also home to Echigo Tsumari Art Triennale, a massive art festival, which was established in 2000 and set to make an appearance next in 2021. Beyond the Triennale, the area hosts an ever-changing roster of events including seasonal festivals, exhibits, and workshops. If you're looking to where to see art outside of Tokyo, or just want to escape the city, **make your way to Echigo-Tsumari any time of year**, as you're bound to discover something new and exciting.

Where: 3743-1 Matsudai, Tokamachi, Niigata (see map)

When: All year round

Website: [echigo-tsumari.jp](http://echigo-tsumari.jp)

Hotel Villa Fontaine 詳しく見る ▶

最低価格保証でお得に宿泊 予約は公式サイトで 自室下駄箱・ライオンアメニティ

Top Stories



Best Cherry Blossom Arts & Crafts You Will Love



Cool Things to Do in Sapporo if You Love Art



Two Perfect Days in Otaru on Your Hokkaido Vacation



Everything You Need to Know About the Finest Japanese Leather



What You Might Not Know About Sapporo Beer

JO Selects



2. International City of Arts and Culture | Tokyo



Photo: Takashi Fujikawa (Allkopsidae)

A ward of Tokyo with a culture completely unique to itself, Toshima is home to an **annual celebration of Japanese artworks, music, tradition, and culture**. Known as Toshima International City of Arts and Culture, the community runs regular events throughout the year as a way to encourage locals and guests to embrace the world of Japanese art. Some of the seasonally rotating events include the Tokyo Anime Award Festival, Cherry Blossom Festivals, and the Ikebukuro Jazz Festival.



Photo: Tadashi Wakui

However, the highlight is always the New Bon Odori Festival and the Tokyo Otsuka Awa Odori Festival. If you've never witnessed the spectacle that is Japan's odori dance festivals, these events are a must-see. A vivid display of colour, precision dancing, and proud Japanese tradition that goes back centuries and is celebrated across the map, once you witness the New Bon Odori and the Tokyo Otsuka Awa Odori, dance festivals are never quite the same. If you're not in town during the dance events, that's ok, **no matter what time of year you're in Japan, chances are there's going to be a Toshima city festival**. Just check out the website for more info.

Where: Toshima City, Tokyo (see map)

When: All year round

Website: [citytoshima.lg.jp/artculture](http://citytoshima.lg.jp/artculture)

Cherry Blossom Art: Must-See Japanese Masterpieces



Where to See Cherry Blossoms in the US: The Complete List



Views of Mount Fuji: Remarkable Woodblock Prints Demystified

Like Page

Be the first of your friends to like this

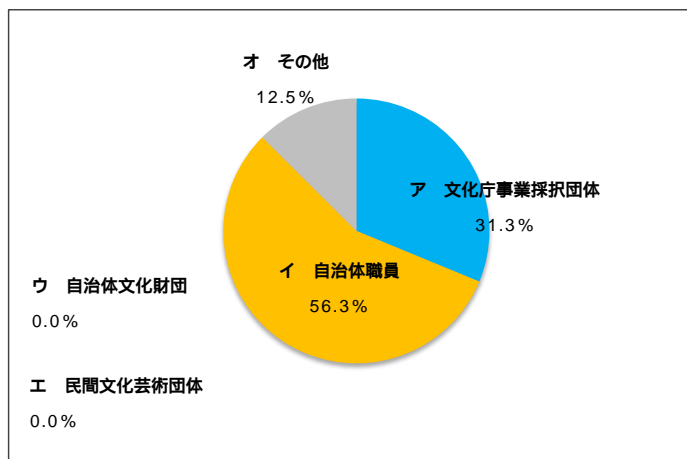
Japan

## 1 ご回答者について

### 職種 (複数回答あり)

(N= 16)

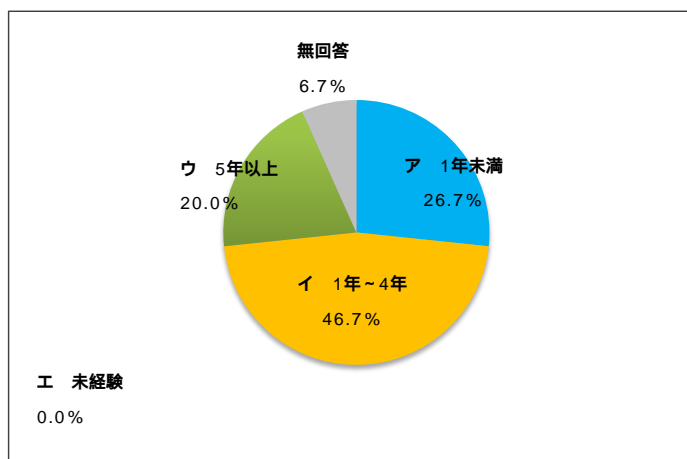
選択肢	回答数	割合
ア 文化庁事業採択団体	5	31.3%
イ 自治体職員	9	56.3%
ウ 自治体文化財団	0	0.0%
エ 民間文化芸術団体	0	0.0%
オ その他	2	12.5%
無回答	0	0.0%



### 文化事業の経験年数

(N= 15)

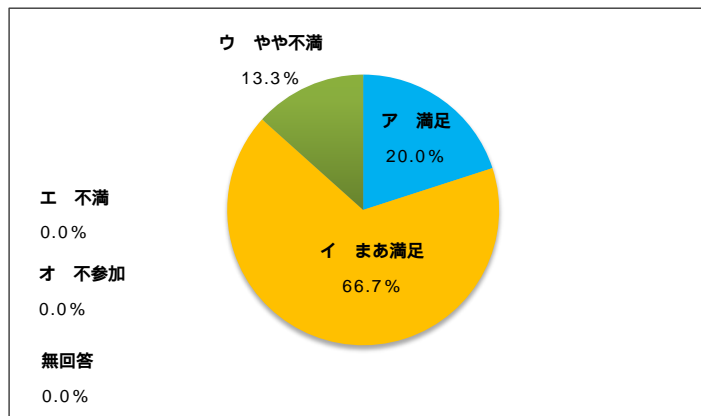
選択肢	回答数	割合
ア 1年未満	4	26.7%
イ 1年～4年	7	46.7%
ウ 5年以上	3	20.0%
エ 未経験	0	0.0%
無回答	1	6.7%



2 第1部 基調講演の内容、時間等について

(N= 15)

選択肢	回答数	割合
ア 満足	3	20.0%
イ まあ満足	10	66.7%
ウ やや不満	2	13.3%
エ 不満	0	0.0%
オ 不参加	0	0.0%
無回答	0	0.0%



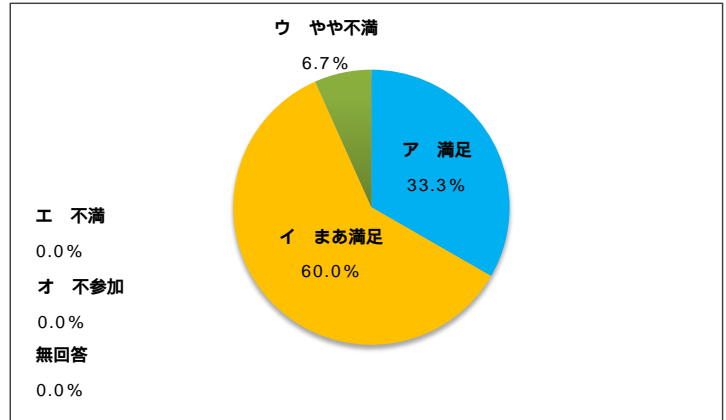
選択肢	回答の理由
ア 満足	・あまり知識のなかった部分を深く伺えたから。
イ まあ満足	・少し短く、もう少し詳しい内容を話していただけてよかったのではないかと思います。 ・マンガ、アニメEXPOのロンドンでの活動についての話であり、日本の各地域における文化フェスティバルの海外発信とは異なる課題も多い。
ウ やや不満	
エ 不満	
オ 不参加	



3 第1部 パネルディスカッションの内容、時間等について

(N= 15)

選択肢	回答数	割合
ア 満足	5	33.3%
イ まあ満足	9	60.0%
ウ やや不満	1	6.7%
エ 不満	0	0.0%
オ 不参加	0	0.0%
無回答	0	0.0%

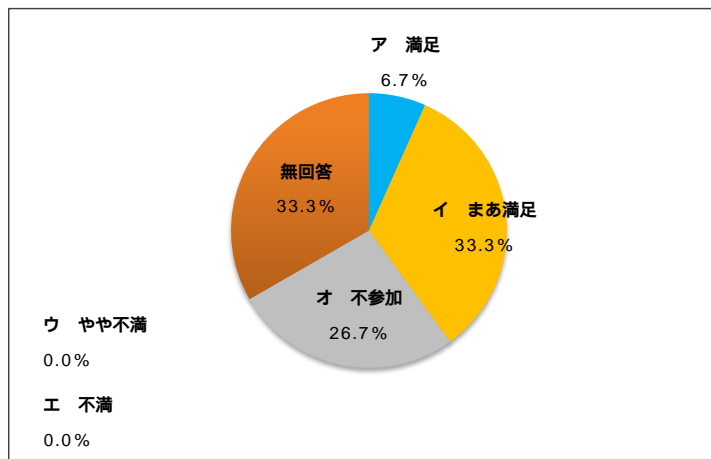


選択肢	回答の理由
ア 満足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に対して内容が濃かった。各登壇者の方が要点を押さえた発言をされていて、同種のイベント・ディスカッションと比べても素晴らしかった。</li> <li>・様々な角度から意見をうかがえた。</li> </ul>
イ まあ満足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な方面からのお話が伺えてよかったです。</li> </ul>
ウ やや不満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来どおりの内容であった。</li> </ul>
エ 不満	
オ 不参加	

### 4 第2部 意見交換会について

(N= 15)

選択肢	回答数	割合
ア 満足	1	6.7%
イ まあ満足	5	33.3%
ウ やや不満	0	0.0%
エ 不満	0	0.0%
オ 不参加	4	26.7%
無回答	5	33.3%

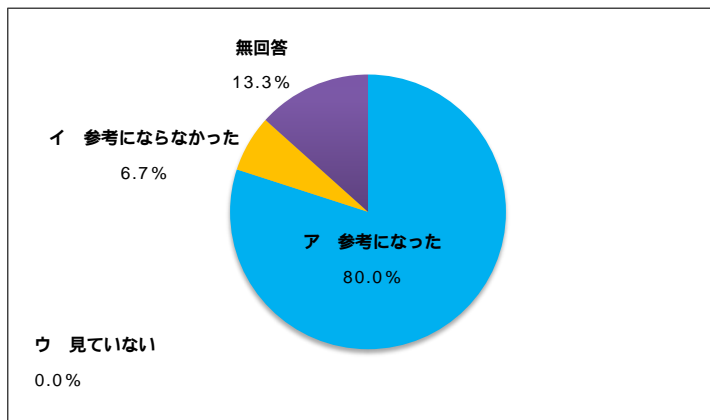


選択肢	回答の理由
ア 満足	
イ まあ満足	・登壇者の方々と名刺交換及びお話をできまして大変有意義でした。ありがとうございました。 ・とても参考になった。
ウ やや不満	
エ 不満	
オ 不参加	・体調不良のため不参加

5 採択事業の報告について

(N= 15)

選択肢	回答数	割合
ア 参考になった	12	80.0%
イ 参考にならなかった	1	6.7%
ウ 見ていない	0	0.0%
無回答	2	13.3%

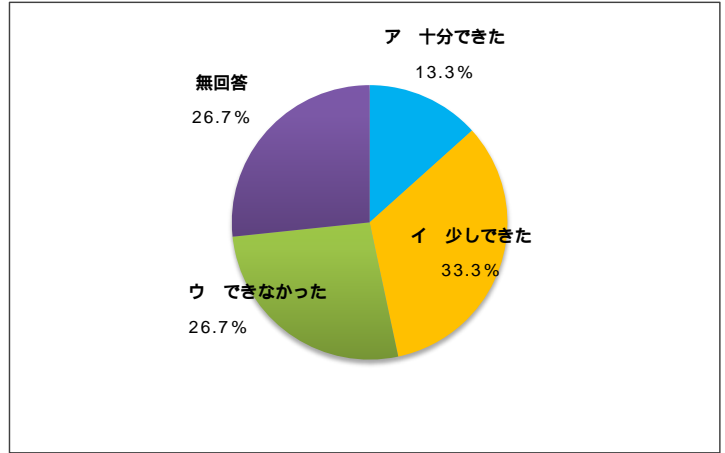


選択肢	回答の理由
ア 参考になった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像があったのでイメージしやすく、とても分かり易かったです。</li> <li>・もう少し時間があってもよかった。資料配布を望む。</li> <li>・後日じっくり調べたいと思います。</li> <li>・今後、自分の自治体の事業に活かしていきたい。</li> <li>・これをナレーションの原文付で公開していただけないか？</li> </ul>
イ 参考にならなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の紹介であり、他団体への参考事例を共有するような内容として作成されている訳でもないため。</li> </ul>
ウ 見ていない	
無回答	

## 6 他の参加者との交流について

(N= 15)

選択肢	回答数	割合
ア 十分できた	2	13.3%
イ 少しできた	5	33.3%
ウ できなかった	4	26.7%
無回答	4	26.7%



## 7 海外発信について

(1) 文化芸術フェスティバルを海外に向けて発信する際のお悩みがあれば記載してください。

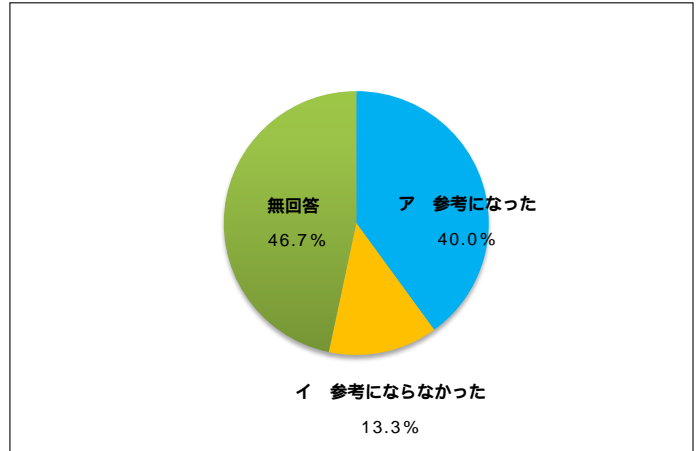
## コメント

- ・つながりのある狭い範囲でしかできておらず、更なる誘客促進を行いたい。
- ・やらなくてはならないこと、やりたいことはたくさんあるが、何から始めてどう進めていくのが全体像がイメージしにくい。
- ・海外への発信方法
- ・海外の方々がどういうものに興味を持っているのか マーケティング方法
- ・多言語対応の方法
- ・海外発信の具体的な方法
- ・基調講演の中で、ヨーロッパへの発信は英国から、現地にアピールするなら各団体・企業が団結すべきと強調されていたが、現在のところ個々での発信に任せるばかりで、講演者の言葉を借りれば「非効率」の状況である。日本としてアピールするには国(文化庁)がリードし、海外発信していくのであれば期待できる。
- ・海外発信に向けてどうすれば効果が上がるか。
- ・2020に各地で同時多発的にフェスがあるはずだが、なかなか訪日外国人は来ないと思われる。各地をまわりたくなる仕組み(事業)を構築していただきたい。(これは文化庁が都が組織にしかできない。) 2019年に多摩地域で実証実験いただけないか？

(2) 上記課題に対して、本日の話は参考になりましたか。

(N= 15)

選択肢	回答数	割合
ア 参考になった	6	40.0%
イ 参考にならなかった	2	13.3%
無回答	7	46.7%



選択肢	コメント
ア 参考になった	<ul style="list-style-type: none"><li>・SNSやインフルエンサー、YouTuberなど、海外の人が実際にフェスティバル等を体験してもらい、生の声を発信してもらうこと。</li><li>・無理に相手に合わせなくても良いが、シンプルな英語は必要。</li></ul>
イ 参考にならなかった	<ul style="list-style-type: none"><li>・話題がマッチングしなかった。</li></ul>
無回答	

8 シンポジウムによって、新たに感じた課題や得られたものがあれば記載してください。

(コメント)

- ・「体験を重視」という点で、現在目指している方向性にマッチしているので、自身を持って取り組みたいと感じた。
- ・何かを体験、つながることが大事。
- ・写真や動画はしっかり撮ること。
- ・日本人にしかできないことをやる。

9 今後、扱ってほしい課題等があれば記載してください。

(コメント)

- ・海外発信に参考となる具体的な手法やサポートについて情報提供をしてもらいたい。
- ・実験的な話
- ・Nippon Fes等の文化プログラムのFesに向けて、より内容の濃い専門的な話

10 ご意見・ご感想

(コメント)

- ・ピエンナーレの取り組みでも、イベントの無い年度もイベント年の準備経費も支援対象にしてほしい。
- ・Beyond 2020のより積極的な周知
- ・小さな取り組みへの補助金 (重複OKのもの)
- ・文化イベントにおけるD&I (多言語対応なども含む)
- ・区市町村への積極的な依頼文と説明文 (市長や幹部は理解が全体足りていなく、チャンスと思えていない。)
- ・今日、Beyond 2020の事例案やヒントを配ると良かったのでは？ (アンケート回答すると貰えるとか。)
- ・会場もBeyondののぼりなど、文化庁が積極的な姿勢を見せてほしい。